

平成31年1月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成31年1月23日(水)

II. 開会及び閉会
開会 13時26分
閉会 14時55分

III. 出席委員

教 育 長	東 南 信 行
委 員	淵 本 晴 生
委 員	藤 本 里 絵
委 員	山 本 正

IV. 出席職員

教 育 次 長	藪 井 慎 吾
参 与	嶋 田 学
総務学務課長	山 本 正 樹
総務学務課参事	松 本 総
社会教育課長	今 吉 崇 文
中央公民館長	小 林 裕 治
邑久学校給食調理場所長	森 山 光 晴
総務学務課係長	安 井 明 子
総務学務課主幹	山 本 三 千 代

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

東南教育長

●会議・行事・工事関係

○総務学務課

- ・初任者研修講座(市教委)(12/25)
- ・授業改善研修会(道徳)(12/25)
- ・市校園長会(1/15)

○社会教育課

- ・成人式(1/13)

○公民館

- ・牛窓町公民館LED工事（1/4～2/4）
- ・中央公民館コンサート（大正琴）（1/6）
- ・ロビーコンサート（箏曲）（1/20）

○市民図書館

- ・放送大学岡山学習センター公開講座（1/12）
- ・落語De図書館～もみわ寄席～（共催）（1/13）
- ・新春 昔語りの会（1/20）
- ・“新聞投稿の魅力”講演会（共催）（1/20）
- ・健康医療情報セミナー（1/22）

○刀剣博物館

- ・企画展「甦った赤羽刀 Part2」（1/5～）
- ・新年打ち初め式（1/13）
- ・日本刀手入れ講習会（1/19）

○美術館

- ・現代日本陶芸デザインと技法 2019（1/13～）

○社会教育関係

- ・邑久スポーツ公園テニスコート改修工事（1/4～3/11）

○国宝「山鳥毛」里帰りプロジェクト

- ・サポーター研修（博物館）（12/22、1/14・20）
- ・サポーター研修（出前）（12/26・12/27）
- ・ブース出展（吉備津彦神社）（1/4～1/6・14）

○その他

- ・ゆめトピア長船ハートフルコンサート（瀬戸内市協働提案事業）（12/22・1/5・6）

3. 前回会議録の承認

署名委員 淵本 晴生 委員 藤本 里絵 委員

4. 議 事

東南教育長 議事進行

第1号議案 臨時職員採用等について

山本課長 （資料を基に説明）

淵本委員 自己都合で退職というのは前から分かっていたのか。

森山所長 前々から話はあった。

全委員 <異議なし>

第2号議案 瀬戸内市青少年問題協議会委員の委嘱について

今吉課長 (資料を基に説明)

山本委員 例えば、学校教員だったら異動があると思うが、その時は自動的にその役職をその期間引き継ぐと、そのように考えていいのか。

今吉課長 その時も教育委員会議には諮る。

全委員 <異議なし>

第3号議案 瀬戸内市学校給食調理場の運営改善に向けた基本計画(案)について

森山所長 (資料を基に説明)

山本委員 私の印象は、すごく丁寧によく考えられていて、書かれたことを分かりやすく説明してくれたので、こういう方向でないといけないと納得できた。それには、自分自身が自校方式の給食も民間委託の給食も、管理職として経験してきたということがある。

牛窓の1食当たりのコストは高いが、これは保護者の給食費という形で、負担が大きくなるという現実はあるのか。

森山所長 それはない。あくまでも給食費として集めるのは食材料費のみである。当然それに関する施設の整備であるとか、人件費については市が負担するということで、440食の材料費のみを保護者に請求する。

山本委員 高い訳ではないということですね。

森山所長 それは邑久も長船も同じである。

山本委員 民間委託をすると、給食費が下がるということはあるのか。

森山所長 それもない。あくまでも食材料の値段によりけりである。

山本委員 どの学校も栄養教諭というわけではないと思うが、瀬戸内市にはどれくらいの方がいるのか。

森山所長 給食主任として各学校に1人はいると思うが、栄養教諭として調理場へ3名、牛窓・邑久・長船調理場に1名ずついる。牛窓については牛窓中学校から1名出していただき、邑久については邑久中学校から1名、長船は国府小学校から1名、それと、加配といって邑久調理場は食数が多いということで、邑久については邑久中学校から臨時学校栄養職員を1名派遣してもらって配置している。

山本委員 国の方針として、正規の給食調理員は採用しないということがあるから、いくら市が募集しても、それに応えてくれる人がいないということなのか。

森山所長 あくまでも、募集しているのは正職の調理員ではなく臨時の調理員で、臨時調理員を募集しても応募がないという状況である。

山本委員 民間委託になってから、栄養教諭は自分の仕事に専念できるようになる。例えば民間委託にする前は、その日の朝になって来られない調理員

がいる。そうすると代わりの調理員を死に物狂いで探す。栄養教諭のそういう姿を見ている。民間委託の場合は、本来の食育だとか、地域の食材を使った地域に愛着を持たせる工夫をしたメニューを考えると、そういうことに専念されているので、給食全体の質がかなり上がっていく。そういうのを見てきたので、最初に言ったようにこの方向が、結局は保護者の方も支持してくれるだろうし、民間委託も悪いことではないので、理解してくれるだろうと思う。

(8頁中誤字の指摘)

淵本委員 10頁の邑久調理場についてのところは、表現が少し分かりにくいと思う。全体としては良く書かれているし、ここ数年来の調理員のなり手のなさを考えていくと、学校給食はこういう方向に行かざるを得ないだろうと思う。それを実際に、邑久調理場が平成30年4月からやってくれていると。それについて検証を行ったということで「給食アンケート結果」というのがあるが、これは、その前の「事業者」「衛生管理」「調理等業務」の3つの項目についても同等の検証方法だということであれば、誰がどのように検証を行ったのか、今一つ分かりにくい。

森山所長 まずは「事業者」「衛生管理」「調理等業務」これについては実際調理現場の話になるので、所長の私と栄養教諭とで判断した。「給食アンケート結果」については、幼小中の教職員全員と小学校高学年、中学校全員にアンケートを配り回収して集計をした。

淵本委員 このあたりはもう少し説明が必要になると思った。

民間事業者への業務委託のところは、民間委託が全面委託ではなく、一部を活用しているという表現になっているのはいいのだが、その時に理想がそこに書いてある。ところが、現実問題としてそうはいかないことも長くやっていたら起こりうる。そうすると、運営主体は行政で責任は市にあると書いてあるのだから、そういう場合も想定しておいて、その業者とどのような関わりをこれからしていくのかということも、どこかに必要ではないか。理想的にいくのが当然だが、現実問題としてそうはいかないことも起こりうるのだから、万が一のことが起こらないようにするためにどうするのかということ、常に考えておかなければいけないと思う。10頁に①から⑤、①から④の項目が書かれてあり、①から⑤のことについては業者に全面的に依頼する、我々はこちらをする、ということが書いてあるように思う。そこは全部業者に委託しているから、業者がやってくれるというのは理想だが、そうはいかない部分もあるかもしれない。そうすると、そこについての責任は市にあると書いてある以上は、任せっきりというのではなくある程度チェックをして、業者と市がうまく関わりを持っていくということが、どこかに表現されていると安心できると思う。

- 森山所長 事業者に対する指導であるとか、そういうこともしていく。
- 山本委員 学校の食育は校長の責任であるから、必ずどのような仕事をしてきているのかは、学校としての管理の一部になる。だから、市だけではなく、学校は繋がりをきちんと持っているはず。検食もしていると思うが、誰がしているのか。
- 森山所長 私と栄養教諭がしている。
- 山本委員 今、ご心配がいろいろあったようだがそのとおりで、民間委託を経験していないところでは、民間委託についてすごく心配があるだろうと思う。民間委託であっても、学校の思いを伝えたらやってくれる。やはり子供の為を一番に考えて結論を出さないといけない。
- 教育長 今頂いているご意見で修正は可能か。
- 森山所長 可能である。
- 教育長 業者に対する市の関わりについては、例えば異物混入が起きた時にその原因の調査を一緒に考えていくとか、そういうことが起きないように方法を業者にだけ伝えるのではなく、具体的な配膳をする学校の立場もあるだろうから、お互いにそういう風なところも含めて考えていき、より安全な給食を目指していく、というような表現に変えていく。
- 修正の部分も加えて、1月28日の総務文教常任委員会に提案し、了解が得られたら、来年度8月から民間委託にできるように予算計上していく。

全委員 <異議なし>

5. その他

- 瀬戸内市立幼・小・中 平成30年度卒業式・平成31年度入学式出席者について
松本参事 (資料を基に説明)

- 山本課長 (瀬戸内市総合教育会議についての案内)

- 森山所長 (学校給食調理場からの報告)

6. 閉 会 (14時55分閉会)